

小豆島地域公共交通協議会

平成21年6月17日設置
平成22年3月19日連携計画策定



概要

小豆島では、少子高齢化や過疎化による人口の減少に加え、自家用車の普及等により、公共交通機関の利用が年々減少しているが、公共交通の維持・確保は、小豆島の発展を図るために欠くことのできない重要な案件である。この問題への対応を図るため、公共交通空白地域である豊島地区でのコミュニティバスの実証運行、利用促進のためのICカードの導入等の事業を実施する。

目標

- ① 公共交通の利便性の向上
- ② 公共交通空白地域の解消
- ③ 持続可能な公共交通体系の構築

事業概要

事業の名称	事業の目標	実施主体
○豊島地区コミュニティバス	公共交通空白地域である豊島地区でコミュニティバスを実証運行し、持続可能な事業展開を図る。	土庄町、バス事業者
○ICカードの導入 (路線バス)	小豆島内の路線バスにICカードを導入することにより利用促進を図る。	土庄町、小豆島町、バス事業者
○ノーマイカーデー・エコ通勤の実施	路線バスの利用を促進し、自家用車からの転換を図る。	土庄町、小豆島町
○交通マップの作成	航路を含めた公共交通路線マップを作成し、利用促進を図る。	土庄町、小豆島町



<豊島地域の課題>

豊島地域は、平成22年4月1日現在で46.3%という高い高齢化率の地域であると共に、公共交通の空白地域であり、島民にとっては以前から島内外への移動には大変苦慮をしている地域である。また、今年開催される瀬戸内国際芸術祭後の観光客の流入が大きな地域の課題となっており、公共交通としてのコミュニティバスの運行が島内外から大きく期待されている。

